

コロナに
負けない

市町社協実践!! 地域とのつながりづくり

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出やイベントの自粛が必要とされ、これまでと同じように地域福祉活動やボランティア活動を進めていくことが難しくなっています。こうした状況下でも地域との「つながり」を継続するために、県内の市町社会福祉協議会では、地域の人たちとともに従来の実施方法を工夫したり、新たな取り組みをすすめています。コロナに負けない地域とつながる社会福祉協議会の取り組みの一部をご紹介します。



勝山市社協

市内10地区に「地区社会福祉協議会」が設置され、それぞれにコーディネーターが配置されています。リアルタイムでの情報交換や、困りごとを解決していくため、スマートフォンを使って、グループLINEを作成し、各地区での状況を発信。常に情報交換を行っています。

池田町社協

サロンの参加者の皆さまに定期的にお便りと宿題（間違い探しや点繋ぎ、手工芸キットなど）をお届けしています。実際集まる楽しさとはまた違った楽しさや喜びがあり、ハガキで戻ってくる皆さんからの回答とコメントに、職員も元気を分けていただいています。

鯖江市社協

鯖江市の神明小学校ボランティア委員会で「誰かのために役に立つ作戦」と題し、校区内のひとり暮らしの高齢者の方に、「元気になっていただけるお便りを書く」取り組みを行っており、鯖江市社協では発送作業に協力しました。

おおい町社協

社協が運営する小規模多機能ホームびわの木で、コロナに関する情報を利用者さんに知ってもらうために「コロナカルタ」を作りました。文言から全て職員の手作りで、利用者さんからは「わかりやすい」、「そうだったのか…」という声をいただきました。

若狭町社協

「地域づくり協議会」の活動の一環として、職員（地域福祉事業）がみそみ地区の有線放送を利用し、地域住民の方々に応援メッセージ及び、社協のPRを行いました。コロナの影響で、地域活動が自粛される中、地域住民とのつながりを継続するために社協人として、今後も「今できる事」に取り組んでいきます。

大野市社協

買い物サロン中止中の4月～5月の期間に、和泉地区在住の高齢者（買い物弱者対象14件の内、希望者9件）対象にマスクの代理購入を実施。高齢者の不安をすこし解消することができ、感謝の声をいただきました。今後も住民とつながり、住みよい地域をつくっていきます。

永平寺町社協

ボランティアさんやサロン代表者、福祉委員の皆様に消毒用アルコールとチラシを配布しました。チラシの中身は脳トレやボランティア募集などについて、感染対策に十分留意して行えるように周知しました。

高浜町社協

和田地区公民館館長の呼びかけで、公民館講座「オンラインで健康体操教室」が開催され、社協のデイサービスや介護施設が参加しました。ボランティアや講師を呼ぶことが難しい中、お手本映像を見ながら一緒に体操ができる貴重な機会となりました。

小浜市社協

～思いを花にのせて～
花づくりで地域交流を深めてきた高校生。コロナ禍で課外活動が制限される中、校内で大切に育てられた花苗が住民・ボランティア・社協スタッフの手でプランターに定植し、地域に飾りました。人をつなぐ心の距離は離れません。

坂井市社協

生きがい通所（通所型介護予防事業）の休止に伴い、4月から2ヶ月間、週2回のペースで利用者へ電話による生活状況を確認。
『大変だけど社協もがんばって！』励ますどころから逆に励まされ「がんばるパワー」をいただきました。

美浜町社協

福祉委員、民生児童委員により、ほとんどの集落で見守り活動が継続できていました。電話での安否確認や、居間から窓越しの訪問などの工夫をしながら実施していました。人とのかわりが極端に減っている今、社会との繋がりを切らないために、見守り活動が大きな役割を担っています。

敦賀市社協

社協だよりの善意銀行のコーナーでマスクの寄付を呼びかけ、集まったマスクを、マスク配付の支援を必要としている市内の福祉施設、福祉事業所、ボランティアグループ等に配付しています。多くの方々のあたたかいお気持ちに心から感謝しています。

越前市社協

越前市の協力のもと、特別定額給付金の案内通知に寄付のチラシを同封し、感染拡大防止に取り組む団体や、医療・福祉関係機関へ助成を行いました。寄付の際、応援したい団体・活動を選択できるようにし、市民の「応援したい」という思いを想起することができ、多くの寄付につなげることができました。

越前町社協

“All For One!みんなで海を作ろう”と題して海の生き物イラストを障がいがある方やボランティアから募集。「越前の海」をテーマにイラストを自由に動く動画や巨大な作品にし、だれも見られるように様々な所で公開や展示をします。ともに作る楽しさや喜び、達成感や一体感を伝えたいです。

あわら市社協

福祉委員会を設置している行政区の交流会を、感染予防対策を行った上で8月に開催しました。地域での見守り活動やサロンでできる対策、工夫について話し合いました。参加者からも好評で、コロナ禍であっても、住民同士が学びあい、支えあうことの意義を感じました。

南越前町社協

コロナ禍で中止となっている料理教室及び、会食サービス利用者の方に、広報紙を配布しました。今後も月1回配布予定です。内容は「食の自立支援」を目的にレシピを一品程度掲載していきます。いつかまた、みんなで集って楽しく食事が出来ることを祈り、地域住民との繋がりを維持していきたいです。

福井市社協

誰かに役立ちたい気持ちを形に「手づくりマスクプロジェクト」を実施し、市民から約3,330枚のマスクを集め、メッセージカードや飾りを添えて、福祉サービス事業所の職員等に寄贈しました。その他、閉じこもりやフレイル予防のための、「おうちでデイホームセット」（脳トレ、筋力アップ資料、小物づくりキット、健康情報等）をひとり暮らし高齢者等に配布しました。

一緒に、
がんばろう！
越前市

